

# 5の1 情報教育学習指導案（総合）

6月8日（金） コンピュータルーム  
授業者 八崎和美

## 1 単元名 アートマイルプロジェクト

## 2 本單元における知識創造

台湾の子ども達ともっと良く知り合うために、自分達の生活を Web で発信することを通して、その特徴を理解するとともに、伝えたい事が伝わるにはどのような内容、表現が適しているのかということ、相手の評価から理解し、自分の表現にいかしていくことができる

5年生の総合は、国際理解分野で行うことにし、アートマイルプロジェクトに参加した。アートマイルプロジェクトとは、外国の子ども同士が言語の壁を越えて、同じテーマで絵を描いて仕上げるというプロジェクトである。本校は台湾の学校とそのプロジェクトを協同で行うことになった。台湾という国に決めたのは、共通の言語として使う英語の習熟程度が同じであるということ、GTの県教育センターの清水先生が懇意にしている学校であるため、交流学习に必要な細かい教師同士の打ち合わせをサポートしてもらえれるという利点があったからである。

その国際交流の総合の時間の中に「情報」のWeb作成の単元を組み込んで本単元を設定した。今の時期は、協同製作に向けて「仲よくなろう」の時期である。その時期にテレビ会議を通じて自己紹介をしたり、お互いの学校生活を報告し合ったりしている。その「仲よくなろう」をさらに押し進めるために、こちらからの情報発信の手段としてWebの作成をおこなうことにした。2学期からの本格的な交流では、協同のWebを立ち上げ、情報を共有して、その成果を絵にいかしていこうと考えている。1学期はそのための情報を蓄積していく時期でもある。

発信の手段をWebとしたのは、国際交流の場合の発信手段として適したメディアであること、つまり遠く離れた地域の、しかも言葉の壁のある子ども達との交流である、という理由からだが、それだからこそ子ども達は、どのようにすれば相手にわかりやすく伝えることができるのかという課題に真剣に向き合うことになるだろう。文字情報には頼れない。情報の構成、写真の選び方、写真に合わせたコメント、アップとルーズの使い分けなど既習事項を総動員して対象に向かうことが期待できる。

さらに、Webは本来は不特定多数をターゲットにしたメディアであるため、なかなか見た人の評価はもらえない。しかし、今回は、ターゲットを台湾の小学生と決めている。自分達の表現が相手に伝わったかどうかの評価をもらうことができる。それを自分達の表現にいかしていこうとする営みが本単元における知識創造である。

## 3 知識創造の力を育むために

### (1) 「かかわり」を活性化するための手だて

まず、何を解決するための時間なのかをグループ員一人一人が自覚する。そのための情報として、台湾からの評価を理解する。それを自分達のWebの修正に役立てようとすることに意識が向き、どのようなことをすればいいのかを出し合い、グループで一つの総意を得ようとする状態を活性化と考える。

#### ゴールを意識したタイムスケジュールを立てる

5年生の総合学習のゴールは、台湾の子と協同で絵を描くこと、その絵のテーマや内容はお互いに協同で取り組んできた学習であること、その協同学習は、協同のWebを作り、そこで展開していくことを理解し、本単元のWeb作成の意味とWebができるまでのタイムスケジュールを作成する。長期のタイムスケジュールと短期のタイムスケジュールを作成することによって、自分達の活動の見通し、意味が共通理解される。次にすることを決めかねている場がずっと減り、直接、内容の話し合いにすぐに入れるだろう。

#### ループリックを利用する

まず、最初にWebというメディアの特徴を皆で考える。新聞などで情報を発信してきた子ども達であるが、これまでの発信手段とどこが違うのかを話し合う。その話し合いの中で、Webの特徴を知り、その特徴を観点としてループリックを作成し、それにしたがって発信し、評価を得る。

#### 評価をいかす

本単元のWebは相手を限定した発信方法である。その内容が興味あるものであったのかどうかは見た人が

判断する。今までに、自分の作品に対して友だちからのコメントをもらって作り直してきた経験はある。しかし、今回のように、本当に相手にわかりやすい表現であるかどうかを突きつめて考えたことは少ないだろう。相手意識・目的意識を持った表現・発信のありかたを考えなければならない。さらに、それが良かったかどうかの評価を相手からの得ることで、自分達の表現を見つめ直すことができる。

以上の3つの手だてを講じていくが、これら3つの手だては「場」を設定したにすぎない、そこで、それぞれのグループに教師が入り、インタビュー形式、対話形式を取りながら、子ども同士の話し合いを活性化していく。

#### 4 学習計画（総時数50時間＋課外）

	主な活動と内容	「かかわり」の活性化の手だて	メディアの利用とその意図
1 ・ 交流のきっかけ作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●なぜ国際交流するのかな</li> <li>・世界の現状</li> <li>・互いの文化理科</li> <li>・ICTと英語の必要性</li> </ul>	<b>表出</b> 個々の活動を自覚させるためにゴールを意識してタイムスケジュールを立てる話し合いをする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●TV会議</li> <li>お互いの自己紹介、学校の様子、HPの感想などを伝え合う</li> <li>・相手との交流を楽しむ</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●計画を立てる</li> <li>・どんな交流をしたい？</li> <li>・どんな情報を知りたい？</li> <li>・どんな情報を発信したい？</li> </ul>	<b>共有</b> 何をどうするべきかを明確にするために 活動内容とそのレベルを考える（活動ルーブリック）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●メール</li> <li>どのような交流をしたいか、お互いに知りたいことは何かを教師同士で打ち合わせる</li> </ul>
2 ・ 発信内容の蓄積	<ul style="list-style-type: none"> <li>●英語での自己紹介と学校紹介</li> <li>・自分達の生活をWebで紹介</li> <li>・言葉だけでなく、視覚に訴える工夫（フリップなど</li> <li>・クラス全員が耳になったり 口になったりして全員参加でテレビ会議をする</li> <li>・協同学習の呼びかけをする</li> </ul>	<b>共有</b> よりよいものを作ろうとする意欲と そのイメージを共有するために 作品の観点とそのレベルを考える（作品ルーブリック）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Web作成</li> <li>自分達の伝えたい事、相手の知りたいことをWebにして発信する</li> <li>・相手意識と目的意識をしっかりと持つ</li> <li>・</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交流国について調べる</li> <li>・交流国の学校のWebから学校生活や、周りの様子、さらに広げて交流国のニュース、文化、食べ物、副総統について調べる。</li> </ul>	<b>結合</b> 自己学習力をうながすためにルーブリックの観点にしたがって自分達の学習をふりかえる	交流校のWebから学校生活の様子を知り、さらに知りたいことをメールで送る
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分達が発信できる情報を調べる</li> <li>・日本や石川県 金沢市の地域の特徴的な場所を調べてデジタル化する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●デジタルカメラ、ビデオ</li> <li>・適しているメディアを選び デジタル化する</li> </ul>
3 ・ 中間発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中間発表会</li> <li>・各学校での交流の様子 テーマ 今後の進め方等を同じ様にアートマイルプロジェクトに参加している学校同士で中間発表会をする</li> </ul>	以上の手だてはグループ活動に関して 単元全体にわたり手立てとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●PCでのプレゼン</li> <li>・今までの交流の様子をまとめて発表する</li> <li>・交流している学校をテレビ会議でつなぎ中間発表する</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループで調べたことを共有する</li> <li>・わかりやすい発表になっているか評価し合う</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい発表とは何かを考え ルーブリックにその観点で評価してもらう</li> </ul>
始 4 本格的な交流の開	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報の発信</li> <li>・蓄積したデータの発信</li> <li>・自分達の代表のアートマイル親善大使を送る。</li> </ul>	<b>表出</b> 個々の活動を自覚させるためにゴールを意識してタイムスケジュールを立てる話し合いをする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●TV会議</li> <li>●メール</li> <li>新しいメンバーとの自己紹介</li> <li>●HP</li> <li>●PC</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●絵のアイデアを考える</li> <li>・協同学習のテーマに沿った絵のアイデアを描き 伝え合う</li> </ul>	<b>共有</b> 何をどうするべきかを明確にするために 活動内容とそのレベルを考える（活動ルーブリック）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●デジカメ、ビデオ</li> <li>・蓄積していたデータをWebとしてアップする</li> </ul>
図と下描き 5 ・ 絵の構	<ul style="list-style-type: none"> <li>●絵の構図の決定</li> <li>・構図は今までの協同学習の様子を表すものを選ぶ</li> <li>●下描きの作成とキャンパスへの転写</li> <li>・実行委員を作り描き出す</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・協同のHPの運営開始</li> <li>同じテーマで協同学習</li> <li>・各グループでデータを組み合わせラフスケッチをする</li> </ul>

作 6 ・ 絵の製	<ul style="list-style-type: none"> <li>●色塗り</li> <li>・11月末には相手校に送る</li> <li>●送り合ったぬいぐるみの目を通した日記をつけて 毎週報告し合う</li> <li>・相手校の情報を知る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・親善大使の様子を Web で発信する</li> </ul>
合 7 ・ 絵の進 行具 チ エ ック	<ul style="list-style-type: none"> <li>●もらったカードの分析</li> <li>・カードの情報から相手の気持ちや様子を想像する</li> <li>・自分達の描いた絵が相手の協力で出来る上がる過程を確認する</li> <li>●絵の進み具合の報告を受ける</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ会議やメールで互いの進行状況を確認め合う</li> </ul>
想 8 ・ 絵の感 交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>●完成した絵を見ての感想の交流</li> <li>・絵から分かる交流国の様子の話し合い</li> <li>・交流校との感想の共有</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>
9 ・ 交流の ま と め	<ul style="list-style-type: none"> <li>●活動のまとめの感想文の交流</li> <li>・交流国との感想文の交流</li> <li>●各学校での交流の様子、テーマ、今後の進め方等を同じ様にアートマイルプロジェクトに参加している学校同士で報告会をする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●PCでのプレゼン</li> <li>今までの交流の様子をまとめて発表する</li> <li>・交流している学校をテレビ会議でつなぎ、中間発表する</li> </ul>

## 5 本時の学習

### (1) めざす知識創造

- ・自分達の作った Web の評価を理解し、それをいかして修正していくことができる。

### (2) 展開

主な活動と内容	時	「かかわり」の活性化とその手だて	メディア利用とその意図										
1・今日のゴールを確認する 2・台湾の小学校とテレビ会議をする ●Webの感想を聞く ・台湾の子ども達に聞こう ・李先生に聞こう ・みんなで耳になり、目になって聞こう ・わかる単語で聞き返そう ・わかりにくい言葉はGTの清水先生が翻訳してくれたり、 ・チャットで文字にしてわかりやすくしてくれる ・自分達の考えたループリックの観点で評価してもらおう 3・グループごとに評価の内容と修正点を話し合う ●ループリックに照らし合わせて作品を見直す <相手が見たい・知りたい 見やすく・わかりやすい >	25	<b>表出・共有</b> 何について理解し どのようにいかしていけばよいのかを明らかにして活動するために 評価を理解し 作品を修正することを互いに確認する	テレビ会議 ・リアルタイムで評価してもらうためにテレビ会議を行う  メール ・できるだけ子ども達が聞き取れる様に観点を英文に直して台湾の学校へ送っておく その観点について聞いたり 聞返したり できるような教師間の打ち合わせをメールで行っておく (GT)										
<table border="1"> <tr> <td>観点</td> <td>A 規準 (抜粋)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">内容</td> <td>・言いたいことが伝わったか</td> </tr> <tr> <td>・相手の知りたい内容か</td> </tr> <tr> <td>・興味を持ってもらえたか</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">表現</td> <td>・画像とコメントは合っているか</td> </tr> <tr> <td>・タイトルは一目で分かるか</td> </tr> <tr> <td>・わかりやすいレイアウトか</td> </tr> </table>	観点	A 規準 (抜粋)	内容	・言いたいことが伝わったか	・相手の知りたい内容か	・興味を持ってもらえたか	表現	・画像とコメントは合っているか	・タイトルは一目で分かるか	・わかりやすいレイアウトか	20	<b>表出・共有</b> 少しでも相手の評価が聞き取れる様に全員で聞き 単語がわかった子は広めたり問い返したりサポートする  <b>共有・結合</b> もらった評価を修正にいかすために ループリックを手がかりにして相手からのコメントをまとめ 具体的な修正案を話し合う。	プロジェクタ ・自分達の Web 作品を提示し それを見ながら どの点で評価されているのかを全員が理解できるようにする
観点	A 規準 (抜粋)												
内容	・言いたいことが伝わったか												
	・相手の知りたい内容か												
	・興味を持ってもらえたか												
表現	・画像とコメントは合っているか												
	・タイトルは一目で分かるか												
	・わかりやすいレイアウトか												
●修正案を話し合う ・もっと画像をしばって出せば良かった ・紹介だけにならないでわかりやすいコメントを入れたらよかった ●Webの修正をする													

